私と○○ その59

何かに情熱を注いでいる方を紹介します

私と陸上　小山 友宏（ともひろ）さん

愛媛CATV動画

“子どもから社会人まで気軽に走れるコミュニティづくり”

南レク城辺多目的グラウンドでたくさんの子どもたちが陸上練習に励んでいる南宇和陸上倶楽部。和やかな雰囲気でグラウンドを駆ける彼らを笑顔で眺め、声を掛けているのが倶楽部代表の小山友宏（ともひろ）さんです。

当初は親子2人で練習をしていましたが、走ることに興味を持った子どもたちが声を掛けてくれたことをきっかけに、陸上倶楽部の結成を考えるようになったと話します。少人数で始まった活動でしたが徐々にロコミでメンバーが増え、現在では20人を越え、小山さんの教え子を含め3人で指導にあたっています。

もともと野球部に所属していた小山さんですが、走ることの楽しさに気付いたのは中学校時代。高校進学後も陸上を続けていると、地元小学校に赴任した中尾茂樹（しげき）先生（現教育長）から小学生へ陸上の指導を依頼されたことをきっかけに小学校の練習に顔を出すようになりました。そこで指導することの面白さや成長を見守る楽しみに気付いたと当時を振り返ります。

練習は短距離・長距離に分かれており、長距離部門の指導を担当している原田宣行（のぶゆき）さんは「徐々に専門性を高めた練習を取り入れるよう内容を工夫していますが、まず第一は楽しさを感じてもらうこと。子どもたちがのびのびと練習できるよう、大人との壁を感じさせない雰囲気づくりを大切にしている」と話します。

「しんどいことも楽しみながら乗り越える経験を通し、諦めない心や我慢強さを育みたい」と愛情をもって指導にあたる小山さん。倶楽部発足から2年以上経ち、小山さんは当初から年齢関係なく一緒に汗を流せる環境づくりに力を入れており、「子どもたちを見ていると、どんな時でも仲間がいることで人を思いやる気持ちが芽生えていることを実感している」と笑顔を見せ、今後の活動について展望を述べました。

編集後記

広報係は広報紙作成専用のパソコンとそれ以外の仕事用で２台のパソコンに囲まれて仕事をしています。撮った写真の選別作業もしていくのですが、中でも子どもたちの写真は至難の業です。笑顔を探すうち、少しでも笑ってほしい、こちらを向いていてほしいという思いから、気付いたら自分の顔が笑っています。でも大丈夫。この時、目の前のパソコンが役に立つのです。よかった、誰にも見られてない。
…と思っているのは実は自分だけ?!　H

山々に広がる桜の色と協会員さん着用の黄色ジャンバーがマッチし春満開で行われた4月の交通安全茶屋。広報係になってから交通安全茶屋には何度か取材でお邪魔してきました。検問と勘違いしてヒヤッとする運転手さんもいるかもしれませんが、交通安全協会員さんの安全呼び掛けに心が温まりつつ気が引き締まり、交通安全意識の向上につながる大切な運動だと思います。7月まで連休無しですがレジャーの季節。安全運転心がけましょう！　M

愛南町の世帯数と人口

令和７年５月１日現在

世帯数	9,755世帯	（+25世帯）
人　口	18,311人	（−26人）
男	8,671人	（−26人）
女	9,640人	（±0人）
愛南町の高齢化率	47.8%	

※（）内は前月比

●10年前 同月の人口　23,340人

■編集・発行
愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地　電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214
https：//www.town.ainan.ehime.jp/